



「人と地球に優しい脱炭素、省エネ住宅づくりを進めていきたい」と語るのは、住宅建築・リフォーム業ヤマムラ(関市下之保)の山村雅宏社長(48)。環境への貢献として、27日に関市上之保の市有林にヒノキの苗木300本の植樹を予定している。

断熱サッシ1枚が木0.2本分の二酸化炭素(CO₂)削減につながる。

近況 省エネ住宅づくり推進

がるとし、施工実績を基に「1000本プロジェクト」を展開。中濃森林組合などと連携して植樹を行う。社員が中心となって企画したプロジェクトで、「やりがいを持って働いてもらっている」と手応えを語る。

主軸のリフォーム業は、創業68年目の企業として地域にも定着。ホームページの充実や交流サイト(SNS)による発信にも力を入れ、地震など災害に強い家づくりや、健康寿命を延ばすリフォームといった強みを柔軟に伝えている。「住まいの悩みを何でも解決できる『住まいのデパート』としての存在感を高めたい」と語る。